

日退教通信

No. 373

2017.8

日本退職教職員協議会

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館5F
 発行責任者 竹田邦明
 TEL 03(5275)2197 FAX 03(5275)2081
 Email nitaikyoyo@gmail.com ホームページURL http://www.nitaikyoyo.com

第48回地公退總會 7月28日



西澤会長の「団結頑張ろう」

西澤会長の挨拶

共謀法、加計問題と緊迫した状況で、連日の国会前で「行動する地公退」の一員としての座り込み、集会など大変ご苦労さまでした。5月3日、安倍首相は「2020年新憲法施行」と日本会議主宰の「憲法改悪集会」にメッセージを送りました。この通り進むとすれば19年までに国会発議と国民投票を行うことになり、国民投票で彼らが勝利するための目標を三千万票

として、すでに神社本庁・新・旧宗教団体を基盤にしての署名集めや地方議会で「改悪決議」採択運動をしています。この「草の根運動」は、私たちの行動とガチンコし、今以上に地域で生活する一人ひとりの意識まで問われることとなります。緊張してしかも緊急なとりくみが必要です。改憲するということはこれからの国の在り方を定めることであり、当然大きな権力闘争を伴います。すでに政局は混とんとしてきました。野党もこの動きの中にあります。現政権を変えようという意欲を持つ政党は、少なくとも、「平和憲法の維持」「脱原発」「働く者の立場で新自由主義に反対する」の3点でまとまり、安倍政権に対峙する姿勢を明確にしなければなりません。「平和なくして社会保障なし」という従来からの私たちのスローガンを大切に、この総会を出発点として現役と共に闘っていきましょう。

日退教の越川代議員が発言をしました。



越川代議員

がない。大企業が下請けも保険に入れるような措置をとらせるべきです。②医療機関の多寡などに、地域間格差がある問題です。死亡率が高い青森県と、長寿と言われる石川県では医療制度に大きな差があります。これをどうするかです。③夜間巡回ですが、東京では一晩に10軒位回れるが、山間地では、おそらく一軒でしょう。これをどう考えるかです。④自分の治療で、自宅での注射に替えました。負担は650円です。なぜ高いかという自宅注射は在宅医療だからです。診療報酬の在り方を考える必要があります。事務局の回答は①根本的な課題で、

新たな運動が必要でしょう。②宿題にさせてください。③いまのところ解決方法が見当たらない。④診療報酬改定に反映できないか検討する。

退連第21回總會 7月14日

地公退總會に先立ち、退職者連合の総会が開催されました。



日退教副会長の吉田順子代議員が発言しました。

退連の役員には、女性がかかなり多く入っている(44名中14名)が、代議員名を見るとかなり少ない(142名中7名)。男女平等推進委員会も活動しているようなので、ぜひ、代議員にも女性が参加できるようにと取り組んでほしい。

なお、この総会で阿部保吉会長が退任し、人見一夫(自治労退)会長になりました。

計報

佐藤昌二副会長 逝去

6月9日の第46回日退教総会で副会長に再選されましたが8月10日亡くなられました。ご冥福をお祈り申し上げます。

「①地公退方針にも保険に入ることを勧めているが中小企業と大企業の利益率には格差があり、中小では入りたくても余裕

日退教の新役員(2017～2018年度)

会長	西沢 清	東京高退
副会長	清水 史朗	北退教
	吉田 順子	兵庫退
	佐藤 昌二	新潟県退
	本村 富美子	東京高退
事務局次長	太田 孝治	大分県退
	竹田 邦明	神奈川高退
	松淵 昂	岩手県退
事務局次長	日高 邦夫	埼玉退
	中谷 正史	日教組
	越川 薫一	千葉高退
部会長	柴田 旭春	都退教
	平岡 良久	東京高退
	芥川 治子	東京高退
監事	福井 英利	徳島退
	北村 環	広島高退
	村山 恵美子	千葉高退
顧問	兼子 哲郎	北退教
	北原 久禅	石川県退

医療・介護の給付抑制と負担増

8月1日から社会保障の負担・給付の仕組みが一部変わりました。

安倍内閣は、2016-18年度の3年間を「財政健全化計画の集中期間」に位置付け、社会保障費の伸びを、高齢化に伴う計1・5兆円程度に抑制させることを「目安」に掲げました。2017年度は、この中間年に当たり、社会保障費の伸びを年平均の「5000億円」に抑えるため、自然増6400億円（年）から1400億円の歳出削減をすることとし、給付抑制と負担増を行うものです。「高齢者にも制度の支え手として、世代間の公平あるいは負担能力に応じた負担の観点から、一定の負担をいただくため見直しを」。塩崎厚生労働相「当時」は今年の通常国会で、こうした考えを繰り返し述べました。

私たちは退職者連合に結集して、この給付抑制・負担増に反対してきましたが、現政権の数の力で押し切られてしまったものです。

「一定の所得がある高齢者は、医療と介護サービスの自己負担額の上限がともに引き上げられる」

医療は70歳以上が対象。一般的な所得がある世帯の人は、外来医療費の負担上限が月2千円アップして1万4千円に。ただし年間の上限額も設けて、今の月額上限12カ月分の14万4千円とし、長期通院する人の負担は増えないようにされています。

また、40〜64歳が負担する介護保険料（第2号）については、大企業の社員や公務員など「支払い能力のある人」により多く納めてもらう仕組みが導入されます。現職共済組合員は保険料が増額します。

「年金では国民年金を受給するのに必要な加入期間が25年から10年に」

会員のみなさま自身で該当される方はレアケースかと思われませんが、ご家族の方に該当される方がおられることが考えられます。なお、この受給には申請が必要です。「該当者にはすでに案内が送られてきています。」

介護も一般的な所得の世帯（かつ「世帯員のだれかが市町村民税を負担している世帯」）で上がり、負担上限が月7200円増えて4万4400円になります。【医療にあわせるようになりましたが、医療はさらに先に行きました。】サービス利用料の自己負担割合が全員1割の世帯は、3年間だけ今の月額上限12カ月分（44万6400円）の年間上限額を設けられます。

この間の経過、具体的変更点の詳細は日退教事務局日より（16・6号 2017年2月8日付け、16・8号 2017年3月10日付け）をご覧ください。日退教ホームページからダウンロードできます。なお、事務局だよりでは高額介護サービスの引き上げ施行時期を記載していませんでしたが、本年8月からの施行となっています。

高額療養費	年収	外来【個人】		入院+外来【世帯】	
		現行	8月～	現行	8月～
現役なみ（370万以上）		4万4400円	5万7600円	8万100円	据え置き
一般（370万未満）		1万2000円	1万4000円※	4万4400円	5万7600円
住民税非課税		8000円	据え置き	1万5000円～	
70歳以上		2万4600円	据え置き		
高額介護サービス費	年収	現行	8月～	※ただし、年上限は14万4000円にとどめる ①2人以上世帯は520万円未満 ②一部世帯は年上限を44万6400円にとどめる（3年間）	
	現役並み所得	4万4400円	据え置き		
	383万未満、単身で住民税課税①	3万7200円	4万4400円②		
	住民税非課税	2万4600円	据え置き		
	生活保護など	1万5000円			



ブロック代表委員

北海道	北島 義久	北退教
東北	川村 豊太	秋田退
関東	越川 薫一	千葉高退
北陸	坂田 勲	富山退
東海	小林 勝彦	愛知退
近畿	富森 和男	大阪退
中国	北村 環	広島高退
四国	山中千恵子	高知退
九州	仲村 勝彦	沖縄県退



部会員 (太字は部会長)

福祉部会	越川 薫一	千葉高退
	後藤 康彦	東京高退
	石川 博	埼玉退
	谷口 滋	都退教
広報部会	山際 正道	神奈川高退
	柴田 迪春	都退教
	江口 彰夫	東京高退
	長沼 清英	埼玉退
組織部会	中山 律子	神奈川高退
	平岡 義久	東京高退
	太田 洋吉	千葉高退
	上田 典男	埼玉退
男女共生部会	藤崎 喜仁	都退教
	平野 直比古	千葉県退
	芥川 治子	東京高退
	井本 みち子	神奈川高退
	前田 嘉代子	千葉高退
	川村 まり子	埼玉退
	柴田 悦	都退教



これらの写真は、安倍内閣退陣、辺野古新基地建設を許さない、退職者連合の「カジノ反対」の新宿での街宣行動です。

秋の具体的なとりくみ

第3回役員会・第1回ブロック合同会議

9月13日(水) 15:00～ 教育会館 6F 会議室

退職者連合全国高齢者集会

9月14日(木) 13:00～16:30 (デモ1km含め) 文京シビックホール

女性参加者の集い

9月14日(木) 17:00～18:30 (軽食付き) デモ終了後 教育会館 6F 会議室

地公三単産・地公退高齢者集会

9月15日(金) 13:30～16:30 教育会館 3F ホール

共に生きる未来を！さようなら原発・さようなら戦争全国集会

9月18日(月、祝日) 13:30～16:30 (デモあり) 代々木公園

第4回東アジア海外研修旅行(旅順・大連) 45名参加

9月25日(月)～28日(木)

朝鮮・中国侵略のきっかけになった日露戦争の実態をこの目で学ぶ旅

第24回五者合同学習会(終了後、第4回役員会)

10月12日(木) 11:00～16:00 ラポール日教済 1F

「徳島県教組業務妨害事件(仮)」 富田真由美さん(徳島県教組元書記長)

「憲法改悪に対するとりくみ(仮)」 志田陽子さん(武蔵野美大)

第23回日退教組織活動交流集会

10月13日(金) 10:00～15:00 ラポール日教済 1F 昼食付(参加者全員)

第2回学習と脱原発の旅(福島)

11月19日(日)～20日(月) 詳細は後日の發文書を参照のこと

男女共生委員会と講演会

11月30日(木) 午後

「沖縄・女たちの脱基地」…沖縄・基地・性暴力の現実から(仮)

講師: 高里鈴代さん(オール沖縄県民会議共同代表他)

総がり行動: 2015年9月19日の戦争法強行採決以降、継続して毎月19日に国会前で戦争法廃止行動を続けています。

今年度は、森友・加計疑惑真相究明、共謀罪法成立阻止、7月からは「安倍内閣退陣」を前面に打ち出して行動をしています。

◆編集後記◆

少子高齢化という文字や言葉が世の中に出回ったのはいつ頃からか? 10数年前頃だろうか? その頃は日本はそんな社会になったのかと漠然と思っていた。

20数年前、自動車通勤をしていた。私の家に帰る途中、脇道に入った所に車の解体工場があった。屋根はあるが、吹きさらしの建物だったので中が見えた。黒い肌の方々が働いていた。居酒屋でそのことを話すと解体工場は冷暖房なし、きつく、油汚れて日本人には無理だから安い賃金で働いてくれる外国人を雇って営業していると聞かされた。

しかし、今はほとんどの方が感じるであろう。私たちの身近な所で多種多様な外国の方々が働いている現状の姿を。少子高齢化が社会にもたらす労働社会の変革を実感せざるをえない現実な社会を。グローバルな時代、国際化時代といえれば聞こえはいいが、逼迫し、劣化しつつある姿に見える。思いこみでしょうか?

5500万人が働いているといわれている。その内、4割が非正規労働者といわれている。60年代、70年代、80年代の高度成長時代に働いていた方々には想像もできない今の社会ではないでしょうか? 今後、益々、少子高齢化の波がうねりをあげ、社会の変化をどのように変えていくのか想像もつきません。少なくとも希望もてる社会であって欲しいのですが。

昔から政治は二流といわれてきたが、一国の首相が国民から疑惑と不信だらけの中で、ああも強気での発言に滑稽さを感じるとともに不思議の感すら覚える。「記憶にない」「記録にない」などと今年の流行語大賞に選ばれるほどの答弁は、我々庶民には思いもつかないし、言える勇気がありません。

しかし、暗い闇ばかりではありません。曜日と時間を決め、全国至る所でごく普通の主婦や子ども連れの若い男女、セクトのない学生、高齢者の方々の怒りの行動が原発の事故以来続いている事実です。今まで遠慮していたのではありませんか。あきらめていたのではありませんか。従来とは違う流れだと思えます。怒りは声と行動で表すことに気づいたのでしょうか。この声と行動に少しでも参加して自分を取り戻していきたいと思います。

(E)